

## エフエージェイ2

# 一生働く!

オレンジ世代の「生きがい」探し

前回に続き、食品業を中心に派遣事業を行う「エフエージェイ」社を紹介する。製造業の労働現場は『厳しい』というイメージが強いが、同社登録者の中には「楽しさ」が仕事を継続させていると語る人がいる。登録者の目線から、同社の特徴を探ってみた。

ここで完全リタイアの選択もあったが、やはり働きたかった。食品工場でパートしたのがきっかけでエフエージェイを知り、昨年初めて現在の仕事先に落ち着いた。製品を箱に整理した形で梱包(こんぼう)するという仕事。製造ラインの前での手作業だが、人間関係に疲れた心には「ひたすら作業に没頭する」ことが新鮮だった。

「ただ、熟練した人との差ははっきりしていて、遅いとチームに迷惑がかかる。そのフォローはチーム全体がやるんです。だから手が抜けないし、1日も早く慣れるよう努力する。こんなこと、今までの人生で経験しなかったことでした」

■職場環境が最大の関心事  
子育てを終え、第2の人生”として「仕事」を選ぶ際、職務内容と職場環境は最大の関心事だ。特に製造業のように黙々と作業を行う職場では、職場の活気や仕事へのモチベーションなどで悩む人もいる。

しかし、森戸さんの場合は杞憂(きゆう)だった。「職場の雰囲気が出るからです。勤務先の工場には70人ほどいて男女比が3対7、20代を中心に年齢の幅は広いんですが、みんな仲がいい。私のように不慣れで作業が遅い人も『気にしないで』『こうすればもっと速くなる』『大丈夫だよ』などと声をかけたり教えてくれたりします。プレッシャーに潰されることがないんです。だから辞めたいなんて思ったことは一度もありません」

そうした職場環境はどうやってつくり出されたのか。そのカギはエフエージェイの「ハイブリッド派遣」制度だ。次回、その詳細に迫る。

(オレンジ世代取材班)

### ■製造ラインの前に立つ

栃木県小山市に住む森戸綾子さん(53)は夫と飲食店を営んでいたが、10年ほど前に店を閉じた。そのまま主婦として家に納まっても家計的には問題なかった。しかし、「長いこと仕事をしていたし、自分の性格から言っても、そんな生活は3日と持たなかった」。

近所の大手量販店に勤め始め、それなりに満足していたが、リーダーの役職に就くと周りの目が違ってきた。

「長いことやってきた接客業とは違い、ポストによって人の価値を判断する世界に驚いた。次第に人間関係に疲れるよう



「ハイブリッド派遣」の内田博之事業所長(左)と森戸さん

# 新鮮だったライン作業

エフエージェイ 「個と組織をポジティブに変革するチェンジエージェント・グループ」のウィルグループの1社で、製造業を中心とした業務請負・人材派遣業を行う(本社・東京都中野区)。アウトソーシング、コンサルティングのノウハウを生かした「ハイブリッド派遣」に定評がある。  
<http://www.fa-j.co.jp/>